

平成26年度第1回

中小企業景況調査報告書

平成26年 4月～ 6月期 報告
平成26年 7月～ 9月期 予測

千葉県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成 26 年 4 月～6 月期

調査要領

1. 調査対象

(1)対象地域

11 商工会地域 千葉市土気商工会、袖ヶ浦市商工会、鎌ヶ谷市商工会、富津市商工会、南房総市朝夷商工会、匝瑳市商工会、いすみ市商工会、印西市商工会、成田市東商工会、多古町商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165 企業(11 商工会×15 企業)

(3)回答企業数 165 企業

2. 調査対象期間 平成 26 年 4 月～6 月を対象とし、調査期間は平成 26 年 5 月 24 日～6 月 3 日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(1)産業別構成

業 種	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	28	17.0
建 設 業	27	16.4
小 売 業	45	27.3
サービス業	65	39.4
合 計	165	100.0

(2) 業種別構成

① 建設業

業 種	回答企業数	構成比(%)
総合工事業	16	59.3
職別工事業	8	29.6
設備工事業	3	11.1
合 計	27	100.0

② 製造業

業 種	回答企業数	構成比(%)
食料品製造業	8	28.6
家具・装備品製造業	1	3.6
印刷・同関連業	1	3.6
プラスチック製品製造	3	10.7
窯業・土石製品製造業	1	3.6
金属製品製造業	5	17.9
一般機械器具製造業	4	14.3
精密機械器具製造業	1	3.6
その他の製造業	4	14.3
合 計	28	100.0

③ 小売業

業 種	回答企業数	構成比(%)
各種商品小売業	1	2.2
織物・衣服・身の回り品小売業	6	13.3
飲食料品小売業	17	37.8
自動車・自転車小売業	3	6.7
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.9
その他小売業	14	31.1
合 計	45	100.0

④ サービス業

業 種	回答企業数	構成比(%)
一般飲食店	24	36.9
宿泊業	4	6.2
運送業	2	3.1
自動車整備業	10	15.4
洗濯・理美容業	15	23.1
その他のサービス業	10	15.4
合 計	65	100.0

本報告書中の[DI 値]とあるのは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

I. 県下中小企業の景況

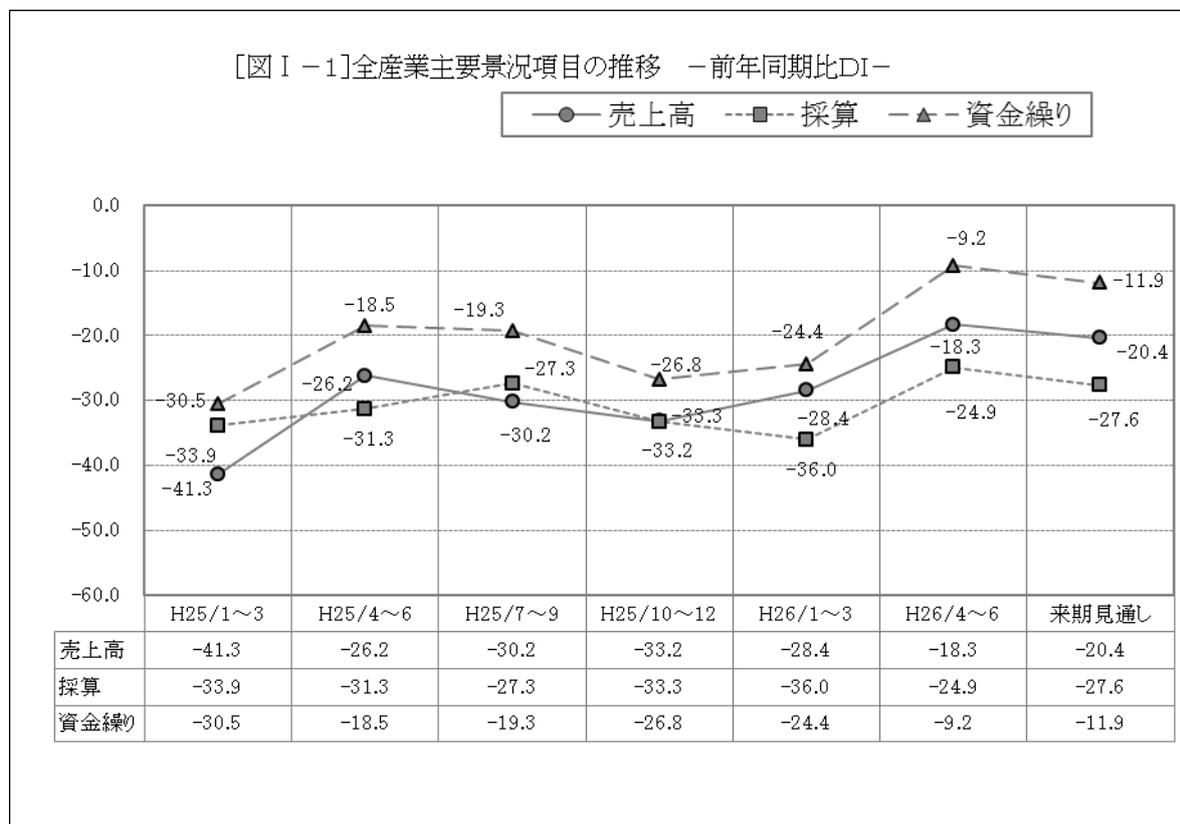
“駆け込み需要の反動は小さく、回復の兆し “

千葉県商工会地区の平成 26 年 4～6 月期中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は[図 I-1]に示したとおり、今期売上高 DI 値は-18.3、前期（平成 26 年 1～3 月期、-28.4）比で 10.1 ポイント増、同採算 DI 値は-24.9、前期（-36.0）比で 11.1 ポイント増、同資金繰り DI 値は-9.2、前期（-24.4）比で 15.2 ポイント増といずれもマイナス幅は縮小している、消費税増税による悪化を予測していたが、駆け込み需要の反動は小さく、全体的に回復基調である。

また、前年同期（平成 25 年 4～6 月期）調査と比較してみると、売上高 DI 値は、前年同期（-26.2）比で 7.9 ポイント増、マイナス幅が縮小している。採算 DI 値については、前年同期（-31.3）比で 6.4 ポイント増、マイナス幅が縮小、資金繰り DI 値は、前年同期（-18.5）比で 9.3 ポイント増、マイナス幅が縮小しており、昨年後期の低迷からは復調したといえる。

このように、今期は全体的には、消費税増税の影響はあったものの、設備投資の増加、売上単価増加、新規受注数の増加等プラス要因が多く、すべての項目で改善が見られる。一方で、原材料の高騰や人材不足といった不安要素がある。

また、来期（平成 26 年 7～9 月期）については、夏のボーナス商戦や消費税増税後の買い控えからの回復が予測される小売業については、全項目で、円安や海外需要により受注が安定している製造業については、売上（売上は横ばい）以外はプラスの見通しを立てている。その他業種では、引き合い数は増加傾向にあるものの先行きに不安のあるコメントが多く、マイナスの見通しを立てている。



II. 各産業の景況

1. 製造業の景況

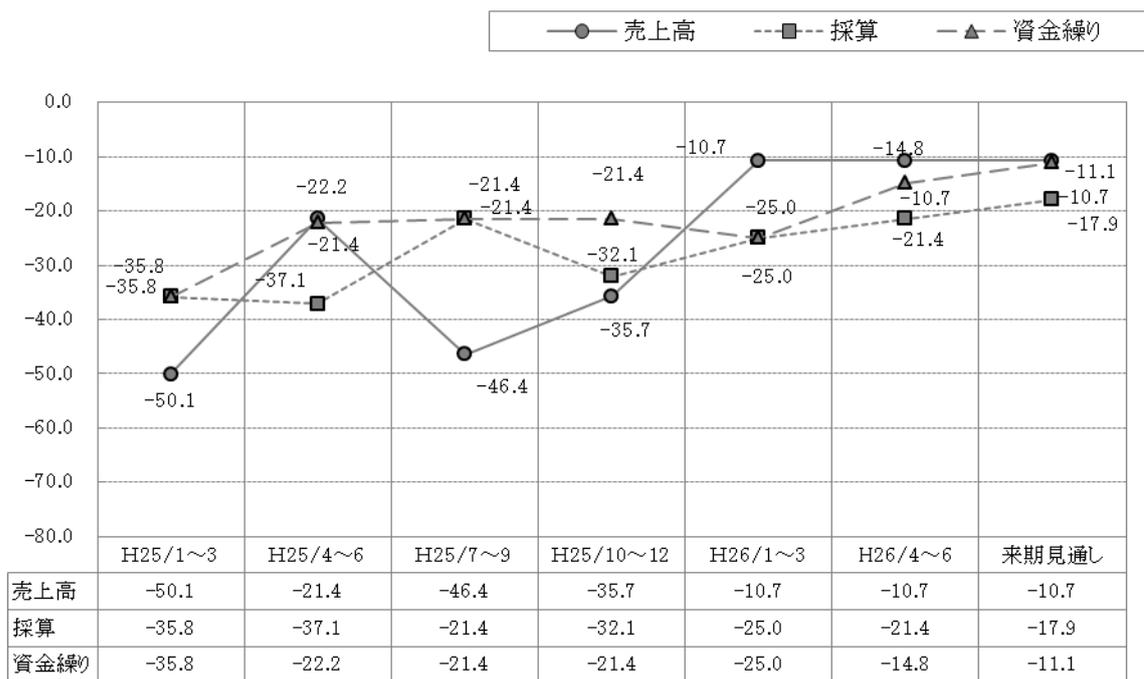
“プラス要素増え、景況感は上向き”

	今期の景況	来期の見通し	
			 :DI 値 +30～
売上高			 :DI 値 +10～+30
採算			 :DI 値 +10～-10
資金繰り			 :DI 値 -10～-30
総合			 :DI 値 -30～

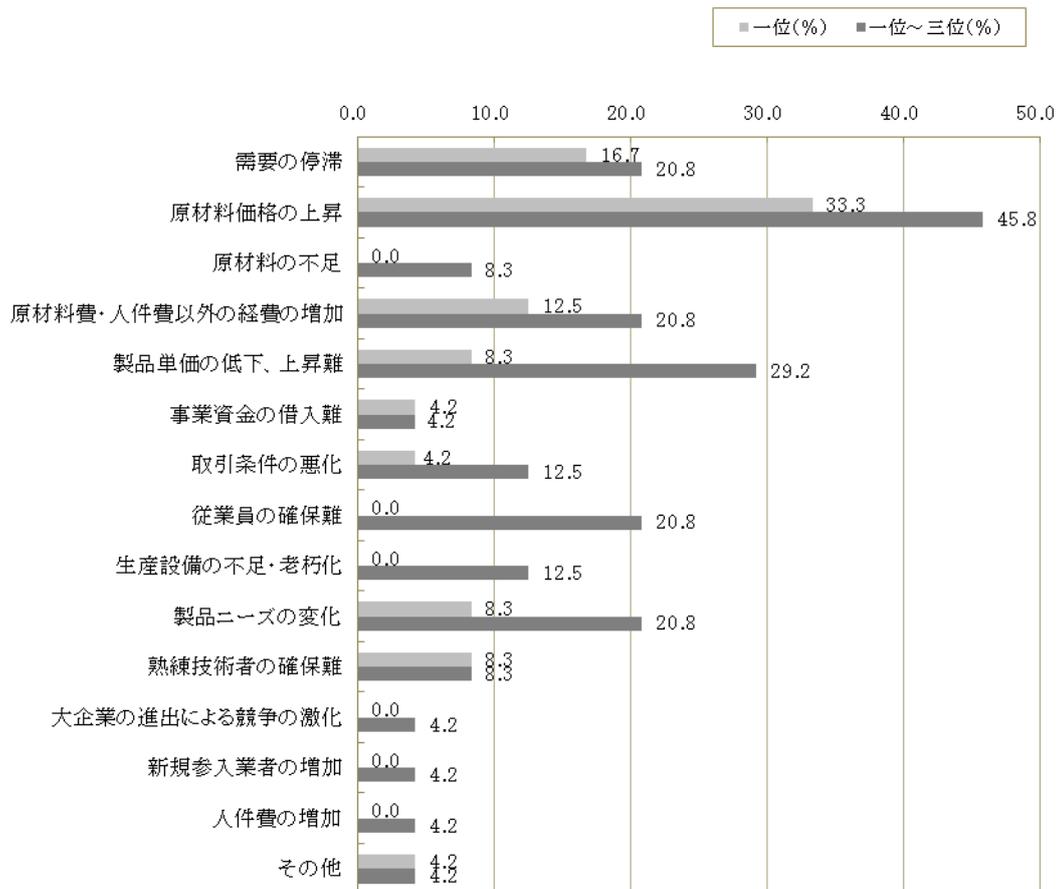
千葉県商工会地区における製造業の景況は、駆け込み需要後の反動を予測していたが、少なかった。また、大企業の好況の影響もあり、受注量が増加し、設備操業度も改善した。今期のDI値については、売上高は横ばい、採算、資金繰りは改善されており、全体的に回復傾向にある。今後の見通しも、外需回復の期待や引合い数の増加、設備投資による生産性向上もあり、売上高は引き続き横ばいだが、採算、資金繰りは改善を予測、景況感は上向きになっている。一方で、円安による原材料価格等の上昇については問題であり、今後も注視していく必要がある。

今期の新規設備投資については2社が実施。内訳は、生産設備・付帯施設が1社、付帯施設のみが1社となっている。また、来期計画では生産設備が3社、付帯施設が1社予定されており、生産設備の導入が中心である。

[図Ⅱ-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI -



[図Ⅱ-2] 製造業 経営上の問題点の状況



2. 建設業の景況

“受注量は確実に増加も不安要素残る”

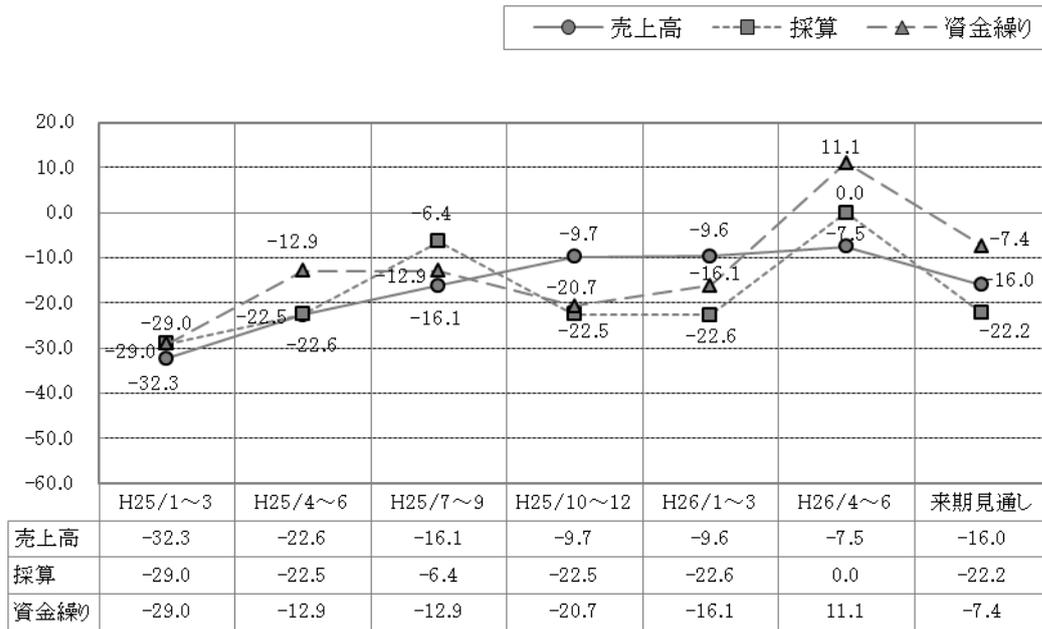
	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における建設業の景況は、新規契約工事も増えたことから、売上高 DI 値は-7.5、前期(-9.6)比で 2.1 ポイント増とマイナス幅を縮小しており、6期連続の改善となっている。また、採算 DI 値は 0.0、前期(-22.6)比で 22.6 ポイント増、資金繰り DI 値は 11.1、前期(-16.1)比で 27.2 ポイント増といずれも大幅な改善となっている。官公需要の停滞や民間需要の停滞を問題点にあげる事業者数は減っており、受注量は確実に増加している。

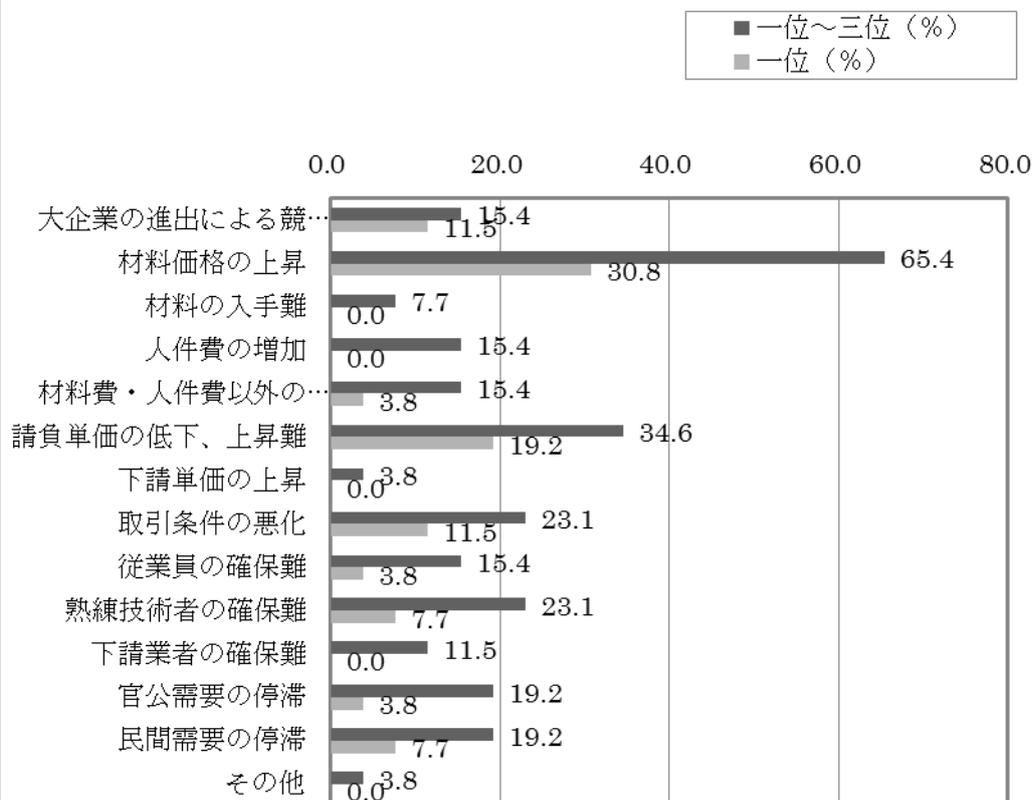
一方で、材料価格の上昇や請負単価の低下、上昇難といったマイナス要素は相変わらず解消されておらず、従業員の確保難についてコメントしている事業者も多い。来期については、当該不安からか全ての項目で悪化すると予測している。採算面、資金繰り面については、今後も注視していく必要がある。

新規設備投資については、車両・運搬具、建物、建設機械、OA 機器等の順で導入実績があり、来期計画では車両・運搬具、付帯施設、OA 機器等の導入が回答されている。

[図Ⅱ-3]建設業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-



「図表Ⅱ-4」建設業 経営上の問題点の状況



3. 小売業の景況

“駆け込み需要の反動は小さく、消費回復に期待”

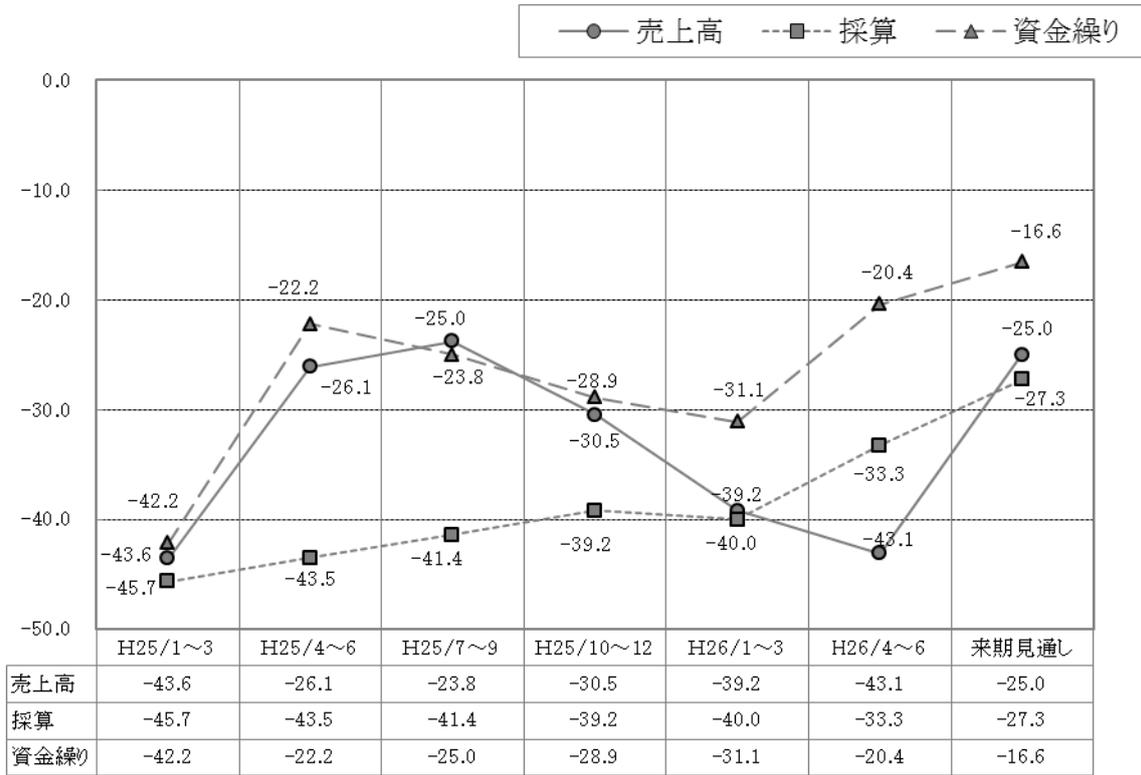
	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区における小売業の景況は、駆け込み需要の反動もあり、売上DI値は-43.1、前期(-39.2)比で3.9ポイントマイナス幅が拡大した。前期の見通し値(-50.0)に比べると軽微だったが、3期連続の悪化となった。また、客単価向上や在庫圧縮等の改善が見られ、小幅ではあるが、採算DI値、資金繰りDI値は改善している。また、今後の見通しについては、増税後の買え控えから消費回復に向かうことへの期待から、全て項目で、改善が予測されている。

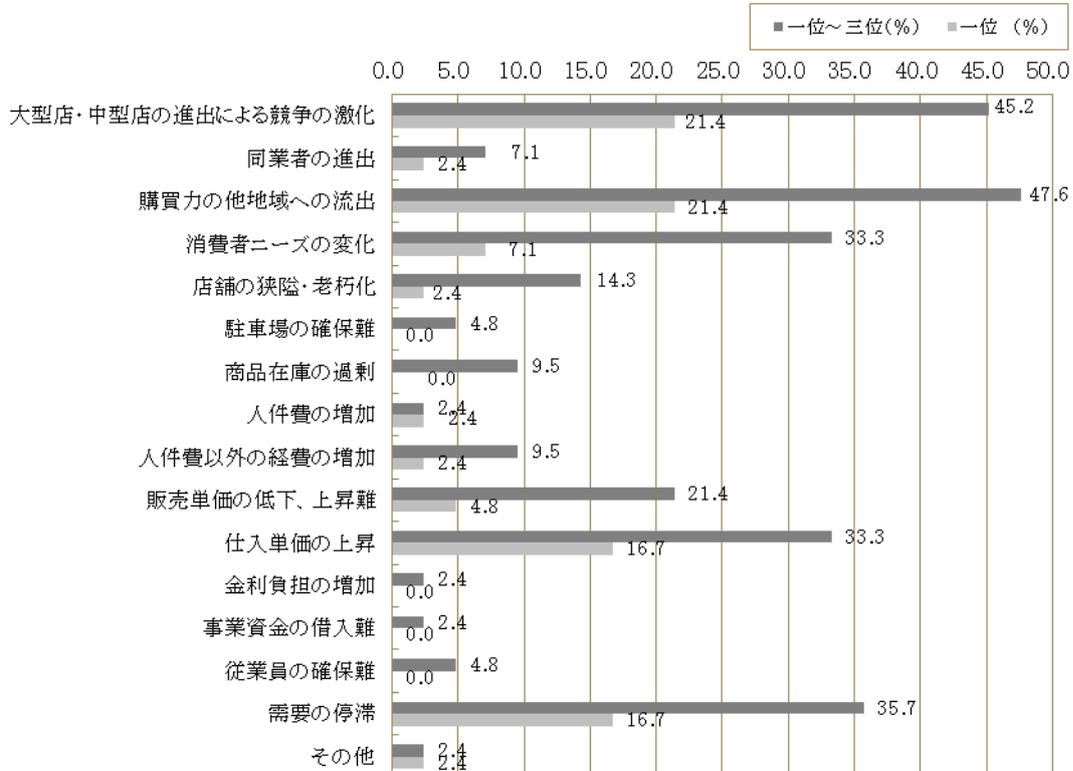
一方で、大型店・中型店の進出による競争の激化や、購買力の他地域への流出等の経営課題は残されているため、売上、採算の確保については、改善していく必要がある。

新規設備投資については、車両・運搬具、販売設備、OA機器、店舗等の順で導入実績があり、増加している。なお、来期計画では車両・運搬具、販売設備、店舗、付帯施設、OA機器、福利厚生施設等の導入が回答されている。

[図Ⅱ-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-



[図Ⅱ-6]小売業 経営上の問題点の状況



4. サービス業の景況

“競争優位性構築が急務”

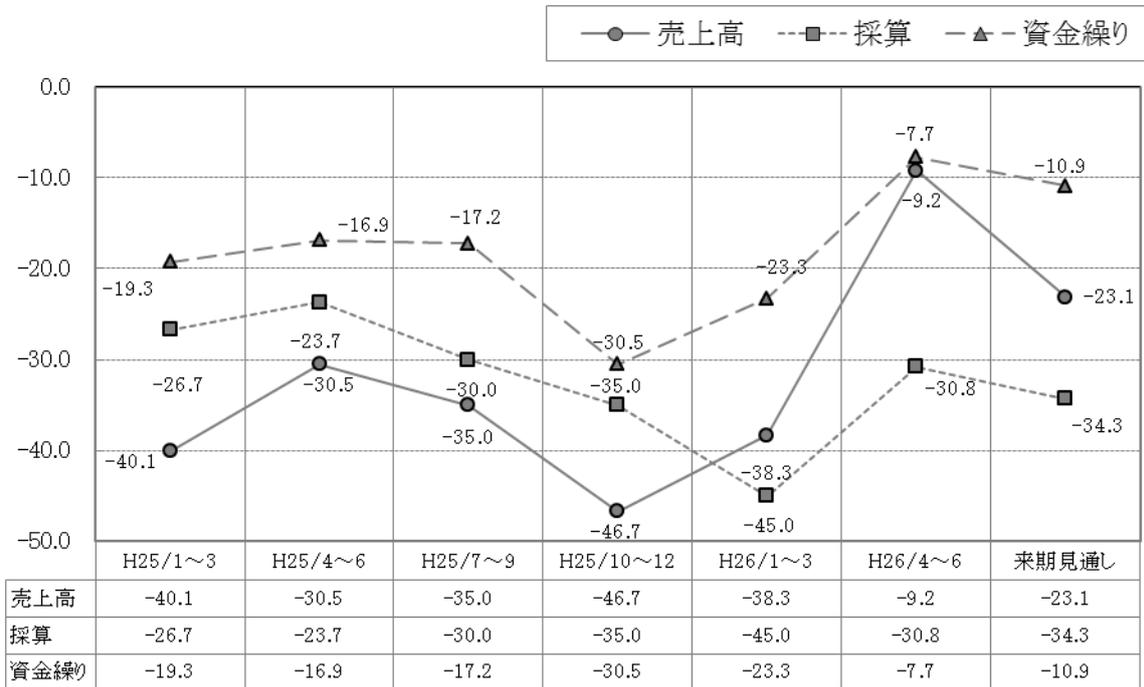
	今期の景況	来期の見通し	
			 :DI 値 +30～
売上高			 :DI 値 +10～+30
採算			 :DI 値 +10～-10
資金繰り			 :DI 値 -10～-30
総合			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、客単価、利用客数が増えており、全ての項目でDI値は改善している。ただし、事業者によって回答のバラツキが多く、独自でサービスや価格を見直している事業者とそうでない事業者で明暗が分れている。

来期の見通しについては、改善が見られた事業者でも懐疑的な回答が多く、全項目で悪化傾向を予測している。材料等仕入単価の上昇、利用者ニーズの変化への対応といった問題が大きく、継続して価格を含めたサービス内容の見直しを行っていく必要がある。

新規設備投資については、車両・運搬具、サービス、建物、付帯施設、OA機器等の順で導入実績があり、来期計画ではサービス、OA機器、建物、車両・運搬具、付帯施設等の導入予定について回答があった。

[図Ⅱ-7] サービス業主要景況項目の推移 ー前年同期比DIー



[図Ⅱ-8] サービス業 経営上の問題点の状況

